



県議会ふくしま

6月定例会の概要(6/20〜7/5開催)

第70号

〔企画・編集〕
福島県議会広報委員会



ふくしまからはじめよう。

定例会での主な質疑

イノベーション・コースト構想

【質疑】福島イノベーション・コースト構想の推進により浜通りをどのように復興させるのか。
【答弁】地元企業や国内外の企業・研究機関等との連携を進めながら、新たなビジネスの創出や関連産業の集積に結びつけていく。また、先端技術の導入による農林水産業の再生のほか、教育機関と連携した人材の育成、交流人口の拡大等を進める。県民の皆さんに構想進展の効果を分かりやすく示しながら、浜通りの再生、福島県全体の復興・創生を力強く推進できるように取り組んでいく。

健康長寿県の実現

【質疑】全国に誇れる健康長寿県の実現にどのような取り組みをされているのか。
【答弁】SNS等による情報発信を強化していくとともに、県立医科大学健康増進センターと連携し、市町村ごとの健康寿命を算出して課題の「見える化」を行い、解決に取り組む市町村を支援するなど、引き続き、全国に誇れる健康長寿ふくしまの実現に向け積極的な取り組みを続けていく。

日本酒の金賞受賞数日本一

【質疑】日本酒「金賞」受賞数5年連続日本一という快挙を、風評の払拭にどのように生かしていくのか。
【答弁】J.R.東日本との間で施行協定を締結するため、6月補正予算において債務負担行為の議案を提出した。一日も早い全線復旧に向けJ.R.東日本との協議を加速していく。また、年内には実効性の高い活用計画を取りまとめ、日本一のローカル線として多くの方々に愛され、利用される只見線を作り上げていく。

J.R.只見線

【質疑】J.R.只見線の復旧工事への早期着手及び利活用の促進にどのように取り組んでいくのか。
【答弁】J.R.東日本との間で施行協定を締結するため、6月補正予算において債務負担行為の議案を提出した。一日も早い全線復旧に向けJ.R.東日本との協議を加速していく。また、年内には実効性の高い活用計画を取りまとめ、日本一のローカル線として多くの方々に愛され、利用される只見線を作り上げていく。

県立高校の改革

【質疑】県立高等学校の統合は、画一的に実施すべきではないと思うが、県教育委員会の考えを尋ねる。
【答弁】学校教育審議会の答申では、魅力化を図りながら統合を推進するべきとされる一方で、過疎・中山間地域においては、例外的に1学年1学級規模の本校も検討するべきとされている。今後は、県民の意見を丁寧聞きながら、新たな県立高等学校改革計画を策定していく。

41件の議案を可決! 21億800万円の補正予算など

福島イノベーション・コースト構想に係る実現可能性調査事業 合計 1億2,245万円

- 福島・国際研究産業都市構想推進事業 3,750万円
コンベンションの誘致等による交流人口拡大の可能性等の調査を実施
- 環境・リサイクル関連産業推進事業 2,500万円
環境・リサイクル関連産業の集積のための資源排出量の予測調査等を実施
- 農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業 2,995万円
営農再開等を推進するための新たな園芸品目や先端技術導入可能性の調査を実施
- (新)ふくしまイノベーション人材育成調査事業 3,000万円
浜通り等の高等学校の特色を生かした教育プログラム開発のための調査を実施

県営体育施設維持補修等事業 3,000万円

オリンピック競技の開催を見据え県営あづま球場を改修するための設計を実施

福島県民健康管理基金造成事業 12億3,455万円

新たな放射性薬剤の研究・開発を行うための基金の積み立て

6月補正予算の主な内容

東京五輪の本県開催

【質疑】2020年東京オリンピック野球・ソフトボール競技の本県開催について、知事の思いを尋ねる。
【答弁】2020年東京オリンピック野球・ソフトボール競技の本県開催について、知事の思いを尋ねる。

浜通りの公共交通

【質疑】被災12市町村における広域バス路線を始めたとして公共交通の更なる充実に向け、どのように取り組んでいくのか。
【答弁】新たなバス路線

議員定数等検討委員会を開催

6月20日、議員定数等検討委員会を開き、県議会議員双葉郡選挙区の維持存続に関する国、国会への要望活動の実施状況について確認した。

公立大学法人 中期目標の調査検討開始を決定

6月27日、代表者会議を開き、知事が6年毎に策定する福島県立医科大学及び会津大学の「第3期中期目標」に県議会の意見を反映させるため、「公立大学法人中期目標調査検討委員会」による調査検討の開始を決定した。同委員会の構成は次のとおり。

政務活動費 検討会を開催

6月29日、政務活動費検討会を開き、平成28年度政務活動費収支

議員海外行政 調査実施を決定

本県の復興再生及び地方創生に向けた成長産業の育成、風評払拭・風化防止等の諸課題について、諸外国の先進事例等の調査を行うこととした。

現地調査を実施

6月30日、農林水産委員会と土木委員会が現地調査を行った。

3特別委員会が 総括審議を実施

7月3日、避難地域復興・創生対策、人口問題対策、地域創生・産業振興対策の三つの調査特別委員会をそれぞれ開催し、調査報告書の取りまとめに向けた総括審議等を行った。



議員定数等検討委員会

委員長 佐藤憲保、副委員長 川方保、委員 宮川政夫、伊藤達也、渡部優生、星公正



政務活動費検討会

報告書等について協議・確認した。



農林水産委員会



土木委員会



総括審議を行う避難地域復興・創生対策特別委員会

可決した国への意見書 (平成29年7月5日、国へ提出)

- ① 地域の实情に即した選挙制度の改革を求める意見書
- ② 山岳遭難者救助対策の推進を求める意見書
- ③ 県内指定廃棄物の埋立処分事業における安全・安心な作業の実施を求める意見書
- ④ 各行政機関の支援を得た民間事業者による既存ダムを活用した水力発電事業の実施を求める意見書
- ⑤ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催への財政支援を求める意見書
- ⑥ ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書
- ⑦ 当県産農林水産物の輸入規制解除に向けた取組の強化を求める意見書
- ⑧ 双葉郡選挙区の維持存続に必要な法的対応を強く求める意見書

〈 告 告 〉

お知らせ

◆平成29年9月定例会は、9月19日(火)開会の予定です。

◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL:(024)521-7608
FAX:(024)521-7965
メール:gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp

◆詳しい情報は

HP 福島県議会 検索

◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」もご覧ください。